

開催に向けて



第35回経営研究フォーラム 実行委員長
Orb hair salon
オーナー

森田大樹

今回のテーマを考えるにあたり、まず最初に頭に浮かんだのは、現在の様な経済状況で経営していく漠然とした危機感でした。この将来に対する不安は、経営者だけではなく、日本中の人が感じているのではないのでしょうか。

そこで、この様な不安や悩みを「共通の課題」と認識し、一人ひとりが行動を起こしたくなる様なフォーラムを企画しました。自主・民主・連帯の精神で自立し、あらゆる依存から脱却する。そして、経営者としての覚悟とこの思いを「独立宣言」という言葉に込めています。

最後になりますが、日本の経済を支えているのは今も昔も我々中小企業です。このフォーラムが、中小企業家の私達が政治やグローバル社会に振り回されることなく、互いに団結し、日本経済を立て直す主役となる新たなスタートになることを心より祈念致します。

全国47都道府県
47,000社のネットワーク

富山県中小企業家同友会

同友会は、異業種の中小企業経営者によって自主的につくられた任意の非営利団体です。3つの目的（①よい会社をつくろう②優れた経営者になろう③よい経営環境をつくろう）の総合実践、自主・民主・連帯の精神で、国民や地域と共に歩む中小企業を目指します。

同友会の4つの特徴

様々な業種
＋
様々な規模
＝
様々な専門家集団

フラットな
人間関係と
本音で語り合える
雰囲気

経営課題に
合わせた
多彩な活動

活動の起点は
支部活動
地域の仲間が
支え合います

※1957年、日本中小企業家同友会（現東京中小企業家同友会）の設立により、同友会の歴史がスタートしました。現在の会員数は、47都道府県47,000社を超えています。富山同友会は全国で22番目、1980年6月に41名で設立し、約450社の会員が学び続けています。

お申し込み方法

参加登録は下記のQRよりお申し込みをお願いいたします。
Webからの参加登録が難しい場合は、右記の問い合わせ先まで、
メールまたはお電話でお知らせ下さい。※分科会は先着順です。



申し込み締切

2026年2月27日(金)17時まで

※キャンセルの場合、全額ご負担いただきます

問い合わせ先

富山県中小企業家同友会
事務局 〒930-0827 富山県富山市上飯野25

Tel.076-452-6006

Fax.076-452-6116

✉ info@toyama.doyu.jp

🌐 https://www.toyama.doyu.jp

営業時間：月～金曜日 9:00～18:00

※ご提供頂く情報は行事運営のため、富山県中小企業家同友会の管理のもとに参加者名簿に活用し、それ以外に使用することはありません。
※本行事の内容を撮影・録音し、印刷物やインターネットで公開させて頂くことがあります。不都合がございましたら事務局までご連絡下さい。

3月9日(月)
10日(火)
初の2日間開催！

第35回 富山県中小企業家同友会

経営研究 フォーラム

「日本の未来は自らつくる
中小企業の独立宣言」
～1人1人の危機感から課題解決の行動へ～

基調講演

「地域から強い日本を創る」
～これからの中小企業の勝ち筋とは～

講師

経世論研究所 所長
三橋貴明氏

会場

富山県民会館（富山県富山市新総曲輪4番18号）

分科会：304号室

全体会・基調講演：ホール

参加費

5,000円（会員企業社員は2,000円）

※上記参加費にて、両日開催される全分科会および基調講演にご参加いただけます。

一般の方もご参加いただけます。お申し込みは裏面にて

※消費税法基本通達5-5-7に該当する共同行事のため、課税仕入れにはしないようをお願いいたします。

※富山県民会館構内駐車場及び周辺道路の混雑が予想されます。
予め近隣の有料駐車場・コインパーキングをご利用頂くか、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

2026年3月9日(月) (8:30 受付～)

9:00～12:15……………第1分科会

13:00～16:15……………第2分科会

17:00～20:15……………第3分科会

2026年3月10日(火) (12:00 受付～)

12:30～16:15……………第4分科会

17:15～17:35……………全体会

代表理事挨拶・来賓挨拶・各分科会まとめ

17:35～19:35……………基調講演

主催

富山県中小企業家同友会

後援

富山県、富山市、日本政策金融公庫 富山支店、北陸銀行、富山第一銀行、富山銀行、富山信用金庫、
富山県信用組合、公益財団法人富山県新世紀産業機構、富山県商工会議所連合会、富山県商工会連合会



河上金物(株) 代表取締役社長

河上 森氏

会社概要
設立年 1885年
資本金 2,000万円
売上高 181億円 (2025年4月期)
社員数 130人
事業内容 土木・建築資材等の卸売業並びに重仮設資材のリース業

第1分科会 / 共育委員会

9:00～12:15

「全社員を“立派な大人”にする！ ～『三方よし』の精神を受け継ぎ、地域社会の繁栄を共に創造する人づくりへの挑戦～」

河上金物株式会社 代表取締役社長 河上森氏は、創業140年の歴史を持つ企業経営において、VUCAの新時代を生き抜く次代の共創型組織を創るため、様々な取り組みを進めています。

神奈川の地で生まれ育ち、ご縁があって富山の地で現会長の地域を大切にしたいという想いを受け継ぎ、入社を決意された河上氏。

その経営の根幹には、地域の繁栄を担う社員を、最も信頼できるパートナーと捉え、共

に育ちあう（共育）企業文化を確立するという「人を生かす経営」の真髄があります。

本分科会では、『三方よし』の精神のもと、社員の自主性と創造性を最大限に引き出し、企業成長と地域社会の繁栄を両立させる、真に未来を担う人づくりへの挑戦をご報告いただきます。

第2分科会 / ダイバーシティ委員会

13:00～16:15

「障がい者 × 職業教育が拓く共生社会の実現 ～健やかで持続可能な地域づくりを目指して～」

有効求人倍率1.52倍と全国4位の富山県。（富山労働局発表/令和7年9月）仕事はあるのに人がいないーそのために仕事を受けられず、廃業に追い込まれる企業も出ています。

多くの企業が人手不足に悩む中、労働集約型のビル清掃業でありながら、新規顧客を安定して獲得し、しかも“指値”で受注する企業があります。その背景には、「障がい者施設」と「同業者組合」が連携することで生まれた“Win-Win”の仕組みがありました。

全国の好事例企業を訪ね、学び、愚直に実践を重ねる過程で、中小企業家同友会の会員企業との出会いが大きな転機となり、石川県型モデルとして仕組みが形づくられてきました。

この取り組みを他県へ、そして他業界へと広げていくことは、地域課題の解決につながり、真のダイバーシティ経営を推進する大きな力となります。地域と企業がともに健やかで持続可能な地域づくりを実現するために、皆さまと共に考えていきたいと思います。



(株) アドバンス北陸サービス 代表取締役 / (一社) スタークリーン&チャレンジサービスいしかわ 代表理事 / 石川同友会

杉本 健一氏

■(株) アドバンス北陸サービス
会社概要
設立年 1988年 資本金 1,000万円 売上高 5.5億円
社員数 262名 (内22名正社員、240名パート・アルバイト)
事業内容 総合清掃サービス業
■(一社) スタークリーン&チャレンジサービスいしかわ
障害者就労支援施設へプロ清掃教育を行うことにより、建物環境衛生の向上を図るとともに、就労支援施設利用者の就労機会の拡大や工資向上を図ることにより、障害者が活躍できる社会の実現に寄与することを目的とする。

第3分科会 / 共同求人委員会

17:00～20:15

「すべての人がその人らしく輝く会社を目指して ～語り合い、信頼しあい、明日を拓こう～」

「きれいな建物さえあれば人は集まる」。そう信じて投資をしても、社員は「将来のビジョンが描けない」と次々辞めていく…。当時わずか8名だったサン樹脂(株)に入社した磯村氏は、そんな苦い経験から同友会での学びをスタートさせました。

経営指針を掲げ、2010年から毎年続く新卒採用を開始。現在69名の社員が活躍する企業へと成長しましたが、その道は平坦ではありませんでした。採用した若手が定着しない第

二の壁に直面し、「受注ストップ」という荒療治を断行。業務の標準化、組織の再構築へと突き進みます。

失敗と実践から掴んだ「若者が定着し、育つ会社づくり」とは何か。そして経営者が「地域に若者を残す」ために果たすべき役割を、赤裸々に語っていただきます。



サン樹脂(株) 代表取締役 / 愛知同友会理事 / 中間協 共同求人副委員長

磯村 太郎氏

会社概要
設立年 1985年
資本金 900万円
売上高 8億8,000万円
社員数 69名 (役員2名、パート19名を含む)
事業内容 工業用プラスチック製品の製造(樹脂・プラスチックを切削・接着・曲げる加工等)



(株) EVENTOS 代表取締役 / 広島同友会理事 / 中間協 共同求人委員長

川中英章氏

会社概要
設立年 1988年
資本金 4,000万円
売上高 4.8億円
社員数 60名 (パート・アルバイト含む)
事業内容 パーティーケータリングサービス・催事の企画運営・飲食店、産直市場を通じた地域活性化業

第4分科会 / 経営労働委員会

12:30～16:15

「誇りをもって人間らしく生きる」

「若者に選ばれる会社になるには?」「若者が根付く地域にするには?」多くの中小企業経営者や地域の共通の課題ではないでしょうか。単に給与や福利厚生を良くするだけでは、思うように人材は定着しません。彼らが本当に求めているのは、「自分の成長」と「仕事の意義」です。

かつて債務超過と大量離職を経験しながらも、「食を通じた地域活性化業」という独自の理念を掲げ、新卒社員比率76%を達成した

株式会社EVENTOSの波乱に満ちた経営をご紹介します。経営理念と社員一人一人の理念を重ね合わせ、「誇り」と「働きやすさ」を両立させた、人を生かす経営の実践を、川中英章会員の優しく、そして魅了される熱い報告を通して学び、渾身のグループ討論を体験しませんか。

基調講演

17:35～19:35

「地域から強い日本を創る」 ～これからの中小企業の勝ち筋とは～

日本は今、これまでにない様々な問題に直面しています。これらは地域の持続性を揺るがし、未来を描きにくい状況を生んでいます。

本講演では、経世論研究所 所長・三橋貴明氏をお招きし、歴史、教育、地域経済という3つの視点から、地域に残る可能性と、中小企業が持つ成長の武器を活かす道筋を解き明かします。

ここには、自社の経営と地域づくりを結びつけるヒントや、時代の変化に対応できる思考の転換が含まれています。

私たち中小企業家は、地域の未来を形づくる重要な担い手です。問題を希望へと変える力は、私たち経営者にあります。

今こそ地域の価値を見直し、子どもたちが誇りを持って生き、命をつないでいける日本を残すための一歩を踏み出す時。

今日ここから、その未来を共に描いていきましょう。

講師 経世論研究所 所長

三橋 貴明氏

中小企業診断士、経済評論家
東京都立大学経済学部卒業。外資系IT企業、NEC、日本IBMなどを経て2008年に中小企業診断士として独立、三橋貴明診断士事務所（現、経世論研究所）を設立。
2007年、インターネット上の公表データから韓国経済の実態を分析し、内

容をまとめた『本当はヤバイ！韓国経済』（彩図社）がベストセラーとなる。その後も意欲的に新著を発表している。当人のブログ『新世紀のビッグブラザーへ』の一日のアクセスユーザー数は12万人を超え、推定ユーザー数は36万人に達している。
2017年10月現在、参加ブログ総数115万の人気ブログランキングの「総合部門」1位、「政治部門」1位である。単行本執筆と同時に、雑誌への連載・寄稿、各種メディアへの出演、全国各地での講演などに活躍している。

初の2日間開催で全分科会および基調講演に参加可能です。一般の方も大歓迎！
未来の視点を共有し、一緒に地域をつくりましょう！